



新丸山ダム建設DX 第3回実証実験

国土交通省 中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
新丸山ダム本体建設工事
大林・大本・市川特定建設工事共同企業体

令和7年2月20日、新丸山ダム本体工事において、建設DXを活用した自律型コンクリート打設システム構築に向けて、第3回実証実験を実施しました。今回の実験では、従来手動操作としていたコンクリート運搬に用いるケーブルクレーンにおいて、揺れ動きを制御し発進地点から目標地点までの往復の自律運転を行い、実用性を確認しました。このような実証実験を通して、ダム本体建設での生産性・安全性向上を引き続き目指します。

参加者：32人（国土交通省職員11人、工事関係者17人、報道関係者4社（4人））

【実証実験】



熟練した作業員のクレーン運転技術を自律運転で再現



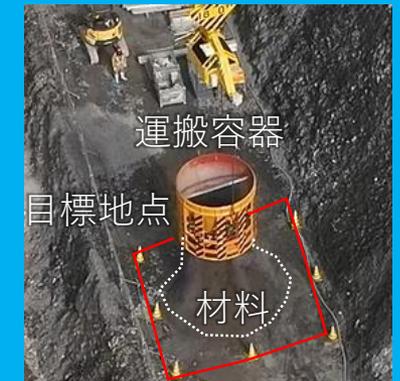
クレーン監視棟



運搬容器の揺れ動きをセンサーで感知・制御



カメラで運搬容器下の障害物を検出し事故防止



材料放出時の跳ね上がりを抑制し、挙動を安定